廿二日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

結核豫防デーに
平署で大宣傳
自動車でビラを撒布し各所に講演會を催ほす

平警察署では來る二十七日結核豫防デー當日平町は自動車その他の方法で平町以外は各町村小學校兒童を通じて宣傳ビラを撒布し各町村毎に豫防宣傳の演說會を開催する事になつたが、當日撒布するビラの一部左の如し

▲健康より强健へ　一、强健なる身体は萬病に對する最良の鐵壁なり　二、頑健なる身體は病魔の侵襲を受けず　三、健康は貴き資産なり

▲先づ結核病を理解せよ　人の大部分は幼年期迄に結核感染を受くるも尙ほ一生を通じて反復感染して重症となる又濃厚なる感染か或は體力減弱、不衛生生活、は重症結核に陷る原因である

▲因果は廻る　結核患者から病毒が散亂される　散亂された病毒に感染して新しき患者が出來る　新しき患者が增惡して再び病毒を散亂する

▲健康鍛練　强健なる國民は衛生施設の賜なり　各個人は充分なる榮養と消極的の養生法を守るの要あり　尙一生を通し適當なる運動及身體の鍛練により健康を得るなり

▲體育運動　休暇と公休日は決して不純なる遊戯に費すべきにあらず野外運動、野外散策、神社參拜登山に遊山に散歩に須らく家族と共に健康保護增進に

▲抵抗力の增進は萬病を防ぐ合理的飲食と、適度なる體育運動、新鮮なる空氣と日光とは、微妙なる作用を人體に及ぼし結核感染に對し大なる抵抗を與ふ

▲平町會召集　平町會は二十三日午前十時召集し昭和四年度豫算更正の件について協議する。

▲平町の生産物　昭和三年度中に平町で生産され市場に送り出された主要物産金額は總計二百二十一萬八千三百四十圓に達し前年に比し實に二十萬圓の大增加を見た、主要物産並に金額左の如し。

▲味噌三十三萬千二百圓▲木製品三十萬九千六百六十一圓▲工産品二十二萬千八百六十四圓▲醬油十七萬六千三百圓▲菓子十九萬四千九百三十五圓▲皮製品三萬八千五百十圓

平署管内
兵事主任會

平警察署管内四町十八ヶ村の兵事主任會は二十三日、二十四日の兩日平警察署樓上に開き二十三日觀櫻會を催ほす事になつたが出席者二十五名である。

▲警察部長歸福　平警察署管内消防檢閲のため來平した中村警察部長、吉田高等課長一行は二十日午後平山保安課長一行は小名濱町を視察し二十一日午後歸福した。

危なくて渡れない
最近の鎌田橋

平町より神谷村に通ずる國道の間の客、貨自動車或は荷馬車等夏井川に架しある木橋鎌田橋がのため敷板が折れて河中に落ち甚だしく腐朽し自動車、馬車の各所に穴が出來て夜間などは通行に危險を與へてゐたゝめ縣では四年度工事として四月早々木監督所では二十日、二十一日の兩日に渡つて一時凌ぎの修理大修理を施す事に決定してゐたが未だに着工せず最近では一日何十回となく往來する平、四倉必要があるから一日も早く着工する事を一般で希望してゐる。

▲桑園指導員會　石城郡桑園改良指導員協議會は二十一日午前十時から平町元郡役所に於て開催左の諸事項を附議決定した。

一、きやうウジ驅除豫防の件
二、新品種普及に關する件
三、藷共同出荷奬勵に關する件
四、桑園害虫驅除指導に關する件
五、霜害豫防に關する件

▲縣社祭典視察　平町青年團長馬目武之助、副團長多田井笑次郎兩氏は二十二日相馬郡小高町縣社妙見神社の祭典視察のため出張した。

常磐銀行大敗
强チームを一蹴して氣勢をあげた平軍

茨城縣下に於ける强チームと稱してゐる水戸市常磐銀行野球團とオール平並に磐城中學校野球部との對抗試合は二十一日午後一時から平町磐城中學校グランドで擧行したが、磐中は七對三で常磐銀行を屠り、オール平軍は第一回に於て六点を獲得し終始常磐銀行側を壓倒し結局十五A對四といふ段違ひのスコーアで大勝した。メンバー左の如し

▲オール平
（投）坂土　（捕）岡　（一）井金　（二）鯨畑　（三）木野　（遊）鈴小　（左）清水　（中）野　（右）石坂

▲常磐銀行軍
（投）澤戸　（捕）賀邊　（一）語　（二）崎澤　（三）根泉　（遊）淺珠　（左）小寶　（中）糸田　（右）余沼小芽小湯

尼子亭の雇人
集金を持逃げ
平署で行衛捜索中

平町松ヶ公園尼子亭吉田直之助方雇人長野縣生松澤覺次郎（三四）は二十日主人に集金を依頼され七十八圓余を集めたがそのまゝ拐帶逃走したので平署で行衛捜索中である。

平地方
バット拂底
卸人の好計か

石城地方に於ける煙草屋では何處でもバットが拂底でバット黨は非常に困つてゐるが、之と同時に小賣屋でも賣足の早いバットが卸されぬのに困つてゐる、元賣捌所ではバット、朝日等が非常に賣れるのに反し昭和の賣行きが惡いので自己の歩合關係から小賣屋に對し昭和を買はねばバットを卸さぬと一軒ぎりに廻り歩いたので小賣屋では之を問題にしやうとしてゐる向きもあるらしいが、之について平元賣捌所で語る。

當所では卸人に對して決してそんな事をすゝめよとは言つてゐません、そんな事實があつたとするならばそれは卸人が惡いのであるから今後かゝる不都合のないやうに注意する。

小名濱から
M K 生

商港實現平小鐵道の實現等々大問題が片ッ端から片付いて大商港大都市の實現を目前に控へ新興の氣運に包まれてゐる小名濱町は、町會改選の結果に依り影響する處甚大である爲め各方面から頗る注目されてゐる、即ち改選期日まで約二ヶ月の時日を有してゐるが既に戰雲頻りに動いて暗々裡に潛行的運動を開始した者もあり平、內郷、湯本等と共に郡下の激戰地を以て目されるに至つた、名乘を上ぐるものと觀られてゐるのは大体次の如くである。

大御所小野晋平君を中心とする一團即ち現在十八名の異色なき全員中二三を除いて大半は出馬すべく、依然として政友派の絶對地盤を誇るものと豫想されてゐる、即ち現町議中小野晋平君は出馬再選共何人もこれを妨げ得ない處で同君を取り卷く中野鐵之助君、小野務平君、馬上德次郎君、立花雄七君、江尻甚太郎君、小濱長太郎君、岡山重喜君、草野良太郎君、堀越新平君、松本德次郎君、野上竹次郎君飯塚榮一郎君などは出馬再選殆んど確實と言はれてゐるが飯塚君は町議中での元老格であるだけ或ひは令弟の飯塚藤右衛門君に讓つて出馬を見合せると共に自分は食指動きつつある振興小名濱町長たらんとし其の椅子を覗ふかも知れないと言はれてゐる。次に小野德藏君だが、出馬は確實、出馬不明の人に野崎長次郎君（現）がある、多分今度は勇退して野崎正太郎君が出馬するらしく。水野政次郎君（元）が呼聲高い。之等鐵壁を向ふに廻さんとする一團の野心家が現れた、即ち例の昭和會で小野君の大勢力と對峙して勝敗は頭から問題にせず出馬すると觀られる人に同會の小島竹次郎君と菅原彌作君があり民政黨系の昭和會が何の邊まで肉迫できるかは興味ある問題其れに中立を看板にして熊谷寅次郎君の出馬も確實と言はれてゐる。

鯉を放す
磐崎村大字下船尾農事實行組合

下船尾農事實行組合では此程組合所有の池に鯉三千尾を放したが秋には鯉釣りの會を催ほす由である。

鼻の藥「チクノール」
平五　山野邊藥局

豐間村會
漁港案附議

石城郡豐間村多年の懸案となつてゐた漁港改築問題は愈々四年度から着工することになつたのでこれが豫算書並に計畫書を縣に提出することになり今二十二日午前十時から同村役場に村會を開き承認を求めることになつた、漁港總工費は十九萬圓の見込である、尙同村は年々小學兒童の數が激增するので現在の小學校では狹隘となつたゝめ四年度工事として二萬五千圓を以て本校舍を總二階建に改築することになつてゐるので併せてこれが承認をも與ふる筈である。

縣下聯合 射撃會成績

縣獵友會射撃會は二十日、二十一日兩日平町常設射撃場で擧行したが、縣下の射手百六十名、集合成績左の如く優勝旗は福島市の倉島久一、阿部藤十郎兩氏の手に歸した。

▲一等三十八点安原大造（平）▲二等三十八点富士間尚（平）▲三等卅七点仲西三良（矢吹）▲四等卅六点涌井經春（平）▲五等三十五点渡邊貫一（平）▲六等卅四点阿部藤十郎（福島）▲七等卅二点倉島久一（福島）▲八等卅二点高橋由藏（平）▲九等卅二点三浦倉之助（平）▲十等卅二点鈴木又右衛門（田島）以下三十等迄

▲大塚氏夫人逝く

平町田町大塚靴店大塚凰三郎氏令閨フヂ子夫人は病氣中の處二十日午後七時十五分死去した、葬儀は二十三日午後一時自宅出棺佛式により執行すると。

▲落磐で壓死

磐崎村大字藤原三井炭礦坑夫三春則生れ鈴木仁佐治（三二）は二十一日午前十時半頃坑内で作業中落磐のため壓死した。

松ヶ岡公園で 泥醉して乱暴

好間村小田炭礦居住坑夫鈴木政治（四六）佐藤龜三郎（四八）の兩名は二十二日午後四時半頃平町松ヶ岡公園で泥醉して亂暴を働らいたので平署に檢束された。

時は流るゝ

磐高女校　三ノ一　江尻ナホ

時は流るゝ、よどみなく流れる。幼なく光る喜び、小さく曇る悲しみ、薄紫の悔を、とこしへにのせて。岸邊に立つて、あしの葉繁る彼方を振返れば、おゝ忘れて居た。流れ去りし、過去の小さな喜びが緑のあしの彼方に、おぼろに光つて居るではないか。幼き私の幻影が、あれにも宿つて居るのだ。今日も流れて行つた。

赤い舟に乘つた「樂しみ」と、黑い舟に乘つた「愁ひ」と、赤い舟は空を仰ぎ、黑い舟は、無心に流るゝ「時」をみつめてふと向ふに蒼白い「心配」の舟が見えた。誰が流したんだらう。祖父か、母か、私の舟も何時か、向ふの川上から流れて來る時があるだらう。そしてこの岸を過ぐる時、かつてこの岸に立つて過去をみつめ未來を思つた自分を、覺えてをるだらうか？時は流れる。そして私の「昔」も去るのだ。さらば―懷しい昔よ。幸福だつた昔よ。私はまた、やがて迎ひに來るであらう十六年の年と共に、長い人生の旅に立たなくてはならないのだ。一から十五まで、あゝ、どれも懷しい。思ひ出の足あとが淡く光つてる。はつと氣がつく、初冬の午後の日ざしが、まぶしい程さす廊下。校庭のやじによく似た木が（私はシロノキを見るたびやしだと思つてる）四五本、そよかな風になつてゐる。あゝ、あのやしの水の長い葉を、青く澄んだ初冬の空との間にも、水色の時が流れて居るのではあるまいか。リン、リン、リン、午後の空中に、始業を知らせる鐘の音が、勇ましくなりひびく。あゝ時は流れゆくのだ

驚いた!!!

こうまで安いとは

平・加納活版所の印刷物

胃腸 内科 十二指腸虫病 淋病 婦人病 皮膚病 専門
梅毒 専門
松村胃腸病科醫院
（平南町 電話一〇七）

△共存ト共榮
△簡易ノ金融
△趣味ノ貯蓄
△誠意ト堅固
磐城無盡會商會
△縣内
△至ル所ニ所取扱ヒ
△何時デモ申込下サイ
△絶エズ會商ヲ奬ヨリマス

鳥料理 御季節
柳川 舞子 丼
仕出しは迅速配達致します
平町南町中舘隣り
蒲燒 鰻 魚榮
電話四二四番

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

セメント 壁用材料 コールタール ペンキ塗料 板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舗
平町二丁目
電話三番

醤油と味噌
福島縣平町
山崎合名會社
電話（營業部專用一〇番 一般用二七番）
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七一二番
振替東京六八三一二番

セキの藥 祐天 鎭咳液
特約店
關内藥局
平町四丁目 電話四〇番

路仙は三井
電話三七八番 七五一番

石版印刷
三國屋印刷所
平町鍛冶町
電話五三三番

美味にして強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす
滋養第一
スポン飴
本舗 大阪東區北濱 檜尾長四郎
各藥舗食料品店
スポンヘモクロビン錠 定價三圓
スポンス酒 定價二圓
代理店
平町五丁目角
山野邊藥局

江戸前料理
花見折詰 金貳拾錢 仕出部
すし折詰 金貳拾錢より すし部
設備も完全に出來ました、江戸前の職人を以て調理しお客樣に御滿足を得る樣つとめます。せひお利用下さい。
平 二
電話六三三番 魚清

内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院（入院應需）
平町紺屋町
電話平二五〇七番

荊妻フヂ子儀 病氣中の處藥石効無く二十日午後七時十五分死去致候に付乍畧儀生前辱知各位に謹告仕候

追て葬儀は二十三日午後一時自宅出棺佛式により相營申可く候

昭和四年四月廿二日　平町田町

喪主 大塚凰三郎
親戚代 佐藤榮吉